

令和 6 年度学校推薦型選抜「小論文」
地域創生学部地域創生学科 地域産業コース（応用情報志向枠）

【出題の意図】

応用情報学を学ぶ上で必要となる基本的な理解力、思考力、文章表現力を問うため、近年注目されているディープラーニング（深層学習）の技術を用いた AI（人工知能）の活用に関する文章を課題文とした。

問 1 では、課題文について、その要点を正しくとらえ、まとめることができるかどうかを評価することを意図して出題した。

問 2 では、課題文で述べられている内容の理解力と 自分の意見を論理的に説明できるかどうかを評価することを意図して出題した。

【採点のポイント】

【問 1】

以下に挙げる 3 点を中心に、要点を正しくとらえ、的確に表現していること。

- ・ 深層学習やニューラルネットワークなどによる AI の飛躍的進歩について指摘している。
- ・ 「ベイズ推定」あるいは「ベイズの定理」という概念をとらえ、筆者の見解が指摘されている。
- ・ 「ベイズ推定」または「深層学習」の類例を的確にとらえている。

【問 2】

- ・ AI の賢さとされている予測、識別、生成、思考力などを、解答者の言葉で論理的に記述されていること。
- ・ 解答者の考えを、明確に示していること。
- ・ 解答者の考えに至る理由を、論理的に説明していること。

【問 1】 及び 【問 2】 に共通

1. 指定した文字数に合致しているか。
2. 誤字・脱字、主語・述語のねじれなど、文章としての乱れはないか。